

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.6, No.1 1994.2.19

Iwate Macintosh Funclub

### MEGUMI開局

前回の会報で予告しました、IMF自営のパソコン通信が開局致しました。このシステムは（有）クリエイトが扱っている、FirstClassを使用したもので、全国各地のUGがホストに使用している最もポピュラーなものです。

このホストの名前は、MEGUMIと名付けられました。

Member's  
Environment for  
General  
User of the  
Macintosh in  
Iwate.

その名前のおと、IMF会員に多大な「恵み」をもたらしてくれることを期待しています。

さて、MEGUMIの開局には次のように大きな二つの意味があります。

#### ●IMFの自立

今まで利用させていただいておりました、「盛岡市実験パソコン通信システム」は、あくまでも実験であり将来までを保障している訳ではありませんし、この運営費用は盛岡市の予算で賄われています。私たちIMFは、この善意にただで甘えてい

たという訳ですが、今後の活動を、より安定して活発なものにするためにも自立することが重要でしょう。

#### ●全国のネット化

アップル社のUGサポートは昨年のUG代表者会議で、UG連絡用BBSの運用を変更し各UGの運営するホストとのゲートウェイ化をする方針を打ち出しました。（前回の会報参照）

また、FC-Linkなど、FirstClassでホストを運営しているグループ同士をゲートウェイ化して、相互に情報交換する組織化の動きも顕著になってきました。MEGUMIはこのための基盤としての側面があります。その体験として、一月現在、川崎市の宮武さんが運営しているHideoutと実験的にゲートウェイ接続しています。

ここまで環境を整えるためには、世話人各位の努力と協力がなければできませんでした。ここに関係者への感謝の意を表します。

また、世話人会での決定でここまで活動をしてきましたが、今度のIMF総会の席で、今後の運営などについて広く会員の皆様のご意見を伺いたいと思っていますので、率直な議論をお願い致します。

### 総会にむけて

例年どおり4月にはIMF総会を予定しています。昨年は一カ月遅れの5月開催となりましたが、今年はそうならないように準備をしています。3月には皆様のところに総会開催案内を出す予定になっていますので、その際には万障繰り合わせの上、参加いただきますよう、世話人一同お待ちいたしております。



#### Inside

MMM特集	-----2
山の花	-----6
秋田のUG訪問	-----7
私のMacLife	-----8
「めぐみ」へおいで	-----10
A Mac User from Canada	----12
林檎ギャラリー	-----14
編集後記	-----15
会員名簿	-----15
掲示板	-----16

# MMM

## miniMMM

### ●開催時期

今年のMMMは、準備に取り掛かるのが遅れたため期日も11月となり、更に人数も30名以内という例年に比べて規模が小さいものになってしまった。とはいえ内容が薄くなった訳ではないと主催した側では勝手に思っている。

### ●会場

会場は、私の知合いが支配人をして「岩手県医療局職員研修施設、ぬくもりの里、NUC（ヌック）」にお願いした。名前は厳めしいが、それとは裏腹に大変アットホームな雰囲気があり、かなり我々の無理を聞いて頂いたし、なにより素晴らしい露天風呂が、参加者の評判であった。MMMの会場として会議室は重要な位置を占めるが、この会議室は宿泊棟と廊下で繋がった別棟にあり、他の宿泊者の迷惑になることはないし、参加者の人数に比して広めであったため、ゆったりとMMMを進めることができた。

### ●参加者

参加案内葉書の申込み要領に「事例発表のテーマ」と記載してあったためか、参加申込みの出足が少なくして主催者としてはかなり心配したが、何とか25人の申込みが有り、開催には支障がなかった。嬉しいことにゲスト参加（とはいっても手弁当の参加）は豪華メンバーで、いつもの諏訪さん、Dr.Kさん、川村湯真さん、Apple Techの宮武さん、木田さん、そしてJHUGの立山さん、拳田津耶乃さん、

石井さん等の参加があった。しかも著書などのお土産まで頂戴して、恐縮の至りであった。

### ●内容

最初は事例発表ということでスタートした。会場の設定などで予定よりは遅れたが、なかに会場は一晚中（翌日の午前中まで）確保してあるから大丈夫。

(1) MacでCFを作るには（川村湯真さん）

MACPOWERにも掲載された「バグホイホイ」のコマーシャル・ビデオの作り方を実例を使って解説して頂いた。ビデオを取るときのシナリオ作成方法や撮影時の注意事項など詳細な解説があった。質問が続出して予定時間を大幅に延長する盛り上がりを見せました。

(2) FC-Linkについて（宮武伸裕さん）

IMFで稼働を始めた自営のBBSホストでも使っているFirstClassを使用した各地のBBSがGateWay機能を活用して相互接続され、日本国内でネットワーク化されている実情と、それに纏わる世界を解説して頂いた。IMFの自営BBSも早い機会にこれらの世界と接続されることを目指したい。

(3) Macを活用したスライドの作成（佐藤護人さん）

医学会での発表用スライドをMacを使って作成するやりかたや、注意点など、豊富な実例を挙げて解説していただいた。彼の作成したスライドは完成度が高く見た目にも綺麗な出来栄

で、スライドが変わる度に参加者からタメ息が漏れました。

(4) Macを活用した医学研究（寺田明功さん）

医用画像をNIH Imageなどの画像処理ソフトを活用し、画像の視認性を高めたりして、画像診断にMacを活用している事例を解説して頂いた。普段馴染みの無い世界の話であるにも関わらず興味深く拝聴できたのは、彼一流の巧みな話術によるものだった。

### ●ディナー・ブレイク

事例発表の間に、一時間半の夕食&入浴タイムを取った。夕食は食堂で取るためここでのパーティが出来ないのが悔やまれる。しかし、夕食から夜の部が開始されるまでの間の入浴が思いの外好評だった。栓作りの風呂からそのまま露天風呂へと出て、文字どおり参加者同士の裸の談話が続く...。雪がチラホラと降りだして、なかなかの風情である。

### ●夜の部

纏まった発表の後、参加者が順番に自己紹介を兼ねた発言を行った。これを報告するのは紙面が幾ら有っても足りないので、トピックだけ掻い摘んで報告したい。おなじみ白石さんは、MMMの為に持参し事例発表で活躍した液晶プロジェクタとスキャン・コンバータの解説を含め最新情報を披露した。木田さん宮武さんは同士打ちとも言えるオフレコ談義で盛り上げた。

(詳しく書けないのが残念)情報通のゲスト同士のバトルも興味深かったが、IMF会員のそれぞれの立場での発

言にも質問や意見交換で盛り上りを見せました。口角泡を飛ばす勢いで、こうなると司会進行も楽なものです。

### ●夜は更けて...

ひととおり自己紹介大会が終わったところで、第一日目のプログラムを終了した。といっても後はフリータイムというわけで、あちこちに会話の島が形成される。お土産の、ちょっとアブナイCDの鑑賞や、知ってはイケナイ情報を聞き出そうとする集まり、Macの使用上の質問など、それぞれの島で会話は果てしなく続く...。寺田さん、佐々木さんからの差入れの林檎と、夜食のオニギリ、サーバーのコーヒーが元気を取り戻させ、異常な興奮状態は一向に衰える気配を見せない。

### ●早起きは三文の得

喧噪の一夜が明け、お待ちかねの景品抽選会が開催された。これはお土産に持ち寄って頂いたものを、希望者でじゃんけんをして決定する形式を取った。その割には長土居さん提供のイタリー製の巨大なバルーンは諏訪さんが手に入れ、私が「The Tao of AppleScript」を手にした辺りは、神の存在を意識させた？夜型の人達は抽選に参加できず、残念な結果になりましたが、掌田津耶乃さんなどは自らの著書を抽選で手にした人からの要望に答えて、快くサインをして下さいました。

来年は抽選のやり方を変えて、参加者に番号を付与し、Macのビンゴ・スタック（工藤氏製作）を使って当たった順番に好きなもの一つづつ取って行くようにしたら良いのではないかと考えている。

### ●After the MMM

解散後、ゲストとその足（送迎車の提供者）は、ヌックから夜来の雪をかき分けて、一路「手づくり村」へ。ここで南部煎餅を焼いたり観光と、お土産の買いだしをして、昼食は「小岩井農場」でジンギスカン+新鮮な牛乳を取る。こうしてMMM'93が終了した。

### ●MMMを終えて

今回は、開催までの準備と幹事役を一人でやったが、実際の開催に際しては、やはり沢山のIMF会員、ゲストの参加者にお世話になった。事例発表に欠かせない大画面は白石さんの提供であったし、マシンは佐藤学さん、長土居さん、佐藤護人さん、杉村さんなどが提供してくれました。そのほか会場の設定や機材の運搬、後かたづけなど皆さんの協力に感謝いたします。今回も楽しい思い出をさせていただきましたので、来年もぜひ企画したいと思っていますので、引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

野村行憲



---佐藤護人---

久しぶりに午前3時半まで起きていました。楽しい時間で、あっという間に過ぎていました。

1.川村さんのMacでミニ映画作成過程を見て、昔医局時代に映画とVideoを作ったのを思い出しました。

これからのPresentationは、Videoを

利用するのが主流になると思っています。しかし、その構成、編集は簡単ではなく、かなりの時間と労力、そして財力を要します。これをMacを使って少しでも容易に安価になれば、Presentationに革命的な変化おこり、学会の発表内容がより理解しやすい、居眠りをさそわなくなると思います。現段階では、川村さんの講演から、少なくともシナリオはExcelを利用し、タイトル等もMacが使えるのが解かり、大変勉強になりました。

2.弘前から駆け付けてくれた寺田先生は、組織の染色の濃淡をカラーで置き換えるPDSを紹介してくれました。これを見て、副鼻腔炎のレントゲンにおける病変の程度をより明瞭にDemonstration出来るので、これはいただきと思いました。しかし、Agfaスキャナー80万、16Mmemory×4で約30万の出費が必要です。今年も、すでに多大な設備投資をしてしまったので半分諦めております。でも何時か使いたいと、もう一人の私が悪魔のささやきをしています。検査器械とMacで医院が成り立たなくなるのではないかと心配しています。

3.夜のFree discussin?の時、JHUGの人や宮武氏等と話ししたかったけれ



ど、プロ集団が円陣を組んだ中には入り込めませんでした。入ってもレベルの違いで、話が噛み合わなかったと思います。もう一つ大事なことは話す内容が無いことです。でも川村さんとは講演の延長線の話題が有り、お話をして楽しい一時を過ごしました。映画を作りたいと言う意欲が見られ、生き生きとして、意欲有る人独特の放射線を出しているのを感じました。CDを出す予定とのことですから、皆で夫々買しましょう。

以上がminiMMMの印象でした。

野村さんに何から何まで全ておんぶしてしまいました。お疲れ様でした。

佐藤護人



-----徳富 亘-----

翌日に控えた、歯科研究発表会の準備のために、会場に着いたのが、9:00頃でした。もう寝てる人もいるかななんて思いつつ、遅い食事を出していただき、誰もいない食堂でひとりビールを呑みながらしみじみと食事を取りました。

会場に行くと、まだ東京組の自己紹介が始まったばかりでした。一年振りに拝見する懐かしい顔、顔、顔、そして洒落た話し方。PowerPCの最新情報を聞き、少々早まったかなと思ってもみたりしました。ワクワクするようなお話や、思わず笑っちゃうようなお話を心行くまで楽しみました。

夏の間も履き潰した効かないスタッドレスタイヤを取り替えていなかったのも、翌朝の雪が心配で、2:30頃に早寝を決め込みました。

お客さんになったようで、癖になりそうなほど快適なMMMでした。野村さんのお骨折りに感謝申し上げます。

来年は、身边を落ち着け、またMMMの準備のお手伝いをできるようにしたいと思っている徳富でした。



-----寺田明功-----

今回のMMMは規模を縮小しての開催となり、まず参加できたことを幸運に思います。

今回の話題はなんといってもPowerPC Macに対する期待と不安ではなかったのでしょうか？

最近さまざまな雑誌や新聞ではApple社の経営戦略の失敗を取り上げ明日にでもDOS/V軍団に征服されそうな記事を目にしておりました。特に私のように北秋田郡にたった一人のMac Userでいますとその不安たるや日に日に増強されるのであります。

そんな中、スタッドレスタイヤでいそいそと盛岡へ出かけていったのです。

集まったメンバーの顔をみると誰も不安そうな人はなく、なぜだろうと思いつつながら分科会が始まったのでした。今回は弘前大学神経内科でMacを使ってオートラディオグラフィーの測定、Color Mappingをした研究を報告させ

ていただきました。ただすこし専門的なテーマのため退屈した人も多かったのでは反省しています。また機会がありましたらMacフリークに受ける内容をやりたいと思います。

夜になり自己紹介大会でしたが、PowerPCの未来像の報告会のようになり私の不安はとんでしまいました。個人的にはPowerPC620までがまんしようと思います。今に見ているDOS/V軍団よ。とおもっていたら偶然68040(25MHz)が入手できLC475を購入することにしました。

今回のMiniMMMに参加できなかった人にはもうしわけないのですが感動、感動の一夜でした。野村さんほか主催者側の人達に感謝、感謝で帰路につきました。

しかし、世の中甘くはないですね。帰路は猛吹雪となり西根インターで高速道路をおろされ4時間もかけてやっと鷹巣へ帰ったのでした。ここではPowerPCに燃えながら、、、

寺田明功

今年の

MMM

は

なんと言っても



が、

いがあった！

by 斉藤

-----佐藤学-----

今回初めての参加でした。(miniつくから前回より小規模なの? 前回も参加しとけばよかったなあ) などと思いつつも、期待を大にして会場へ。なんと泊まりですからねえ。

常々思っていることですが、IMFに入ってよかったなあと思うのは色々な人と知り合って、色々な話ができることです。

最近、「林檎」の編集会議に参加していますが、編集会議後の「お話し」も楽しみの一つになっています。

ヌックも楽しみにしていました。

さて、miniといいながらゲストも多く、みなさんMacが好きな人ばかりという感じが充満していて心地よいものでした。

技術的な話はよくわかりませんでした。Macの画面を液晶ビジョンに写してプレゼンというのはおもしろかったです。現在のMacの環境だと、結構簡単に大画面が実現できますね。学校(授業)でも使えるなあと思いました。が、視覚にうったえる教材を作るにはセンスが要るなあと思いましたね。

(教材を作る材料と道具(アプリケーションね)はMacはそろってるけど。)

夜の自己紹介兼座談会? が私は楽しくためになりました。色々な考えを聞けましたし、私の話(学校現場とMac&

PC)にも結構つっこんでくれて、うれしさ大でした。

はやく、Macが電卓なみに安く! だれでも使えるものになってほしいと思いましたね。

最後に、泊まりはいいですね。今回はお風呂もgood! でした。

私は、普段の疲れが出てすぐ眠ってしまいましたが、徹夜の方もいたようでみなさんのタフさにはおどろかされました。

次回もぜひ参加したいです。

普通タイヤで参加して翌日困った、鮎沢佐藤でした。

-----佐々木明宏-----

去年のMMMでは、同行の者が牡蛎アレルギーで高熱を出し寺田先生と遠山さんにお世話になったものでした。今年も滝沢の金田一農場から林檎を分けていただき、降りしきる雨の中、半石のぬくもり荘NUCを目指しました。

遅れて着くこと20分、会場では応用技術研究会のためのプロジェクターなどのセッティング中でした。白石専務と寺田先生の抜群のコンビネーションで笑いをとりながら、あーでもないこーでもないという「すったもんだ」状態。でもこれは恒例のMMMの開会

の儀式ということもできますが、プレゼンテーションのための実験としては、PowerBookとデスクトップ型のMACではモニターの信号が違うことが発見されるなど、実に貴重な試行でありました。次回からはぜひ発表会の冒頭で、会場のシステム構成とそのポイントの説明があった方がよいと思いました。

佐藤先生のプレゼンテーションは素人にもわかりやすく、プレゼンテーションの基本を確認できました。寺田先生の語りはもう一歩で芸の域にいくのではないのでしょうか。宮武さんと、木田さんと、佐藤圭さんの語り口もとても独特でわからない中にも納得させられるものがありました。あと、川村湯真さんの夜更けにだんだんボルテージが上がっていくさまは、年に一度のMMMをかあーっと最高の夜に盛り上げてくれました。AM4:30就寝、AM7:00起床、外は真っ白の雪景色。寝不足の最悪の朝のはずが舞い落ちる雪を眺めての露天風呂。MacExpoもいけれど、これは日本一のイベントですよ。

最後に、野村さんをはじめとして、準備とそして参加された方々にねぎらいとお礼を申し上げます。



fabrique佐々木明宏



昨年(1993年)の6月の素晴らしく晴れた朝、車をとばして八幡平に行き、朝露でズボンが濡らしながら山道を歩いて湿原に出ました。濡れた湿原をよく見るとその中にピンクの小さな花を見つけました。高さ10cmで花は5~6mmの小さなつぼみ形をしています。これこそ何時か見たい、そして是非写真に撮りたいと思っていたヒメシャクナゲです。淡いピンクの花は可憐で、あまりにも小

# 山の花

佐藤 護人

さく感じました。数も多くなく、湿原にちらほらと見かける程度です。咲いている期間も短いので、これまで出会う事が無かったのでしょう。

昨年(1993年)から情緒的な花の写真を目指していましたので、逆光で朝露が光って玉ボケになればと思っていましたら、大体思い通りの出来上がりになりました。今年も花その物を図鑑的に撮るのではなく、心に訴える写真を一枚でも多く撮りたいと思います。



ヒメシャクナゲ

By Y. Nomura



秋田で活発な活動を続けている MACC (Macintosh Akita Communication Club) の例会にお邪魔して、活動の状況を見学させていただきました。今回の秋田UG訪問は私にとっても貴重な経験でした。他UGの例会の様子を拝見し、会員の方々とお話をし、UG健在なり！という感想をもちました。今後のUG活動にこの経験を活かしていきたいと思っています。

## 特急たざわに乗って

盛岡から行くと大曲で進行方向が逆になる「特急たざわ」は12月11日(土)14時31分に秋田駅に到着した。あいにくの風雨でした、が会長の武田さんが駅まで車で迎えてくれたので、苦もなく会場に到着。そこは秋田ゼロワンショップ二階の立派な会議室であった。早速アップル社から届いたビジュアライザなど機材のセッティングを開始した。

## 例会のはじまり

いつもの手順(だと思う)で、例会がはじまった。(開始時の人数約6人。途中からポチポチ増えるのは、いずこも同じ。今日は悪天候のためいつもよりは少なくなることが予想される。)

さて、MACCの例会は概ね次のような手順ですすむ。

### ●開会宣言、事務連絡

会長の武田さんから開会の挨拶の後、会員への連絡、アップルからのメイリング内容の回覧、スタッカーのβテストの報告など手際良くすすむ。

### ●疑義事項

今後のことなど会員との話し合い。議

題は概ね次のようなもの。

・来年はUG設立5周年。何か記念事業を。皆さんから案を出して頂きたい。

(原点に立ち帰る。ビギナーが一番最初につまづく所は?)

・新規会員の募集について。

(会員の声)私が最初にこの会を知ったのは、ゼロワンで買ったときにこのクラブの入会案内があったことによるが、最近案内書が無くなったがどうして?

クラブに入るとゼロワンから買わなくなるという感じを持たれているのでは?

現在の会員は42~3人。新入会員は、なかなか会の中に溶け込めないのでは?月一回の例会の曜日に問題があるかもしれない。もう一度会の存在をゼロワンに置いてもらうようにする。

なかなか活発な意見が飛び交う。

### ●会員が持ち寄ったソフトの紹介

### ●Newtonのデモ

(私が割り込んだもの)

ビジュアライザという照明付きビデオカメラでNewtonの画面を660AVの画面に出してデモを行った。Newtonの実物を実際に操作してみると欲しくなるのはMacユーザの証拠?

### ●オークション

会員が当日持ち寄った(寄贈)ものを、その場で競売するもので、その売上は会の収入になる。武田さん一流のセリは見事であった。この方式は是非IMFでも参考にしたいもの。

## 酒の里秋田

この日はMACCの忘年会の日で私も招待を受けた。酒所の秋田のこと下戸の私は酒豪の恐怖に戦きながらも、Macの話題の魅力に負けて末席を汚した。初対面の方々も多かったが、そこはそれ、Mac気違い同士の連帯感で盛り上がり、外の悪天候をものともせず、予定の人数びったしの参加で夜遅くまで続く。やはりMacユーザ、個性的で魅力のある人達(変わり物)が多くて楽しいひとときであった。

翌朝、駅まで送って頂いた武田さんと再会の約束をして秋田を後にした。

最初に触れたように今回の訪問では、多くのことを学んだ。MACCの会員に感謝するとともに、この恩に報いる機会を持ちたい。



MACC名物?オークション風景(左端は武田会長)

# 私の Mac Life

by 阿部好晴

## 仕事のマニュアル

昭和61年に南営業所を任せられ、それ以来、部下の育成が大きなテーマになりました。ところが、今の会社の設立前からこの仕事に関わり、20年近い年月の間、試行錯誤で体で覚えてきたので新人や、部下を指導するとき系統だって整理されてないのでなかなか効率良くできませんでした。

組織を拡大するためには指導の手引きが必要ということで、作ろうと思い始めました。

最初、ファイルノートでやってみたのですが、項目の入れ替えが面倒でした。KJ法のようにカードでやろうともしたのですが、頭で考えただけでまとめが面倒くさそうでやりませんでした。年度初めになると、作らなくてはと思うのですが、なかなか手がかかずずっと棚上げのまま何年とたちました。

さらに、昭和59年からずっと学んでるテーマがありそれが私のライフワークなのですが、その内容を整理したいということも課題になっていました。

## コンピューター語が必要

平成3~4年の週間ポストの新春号の大前研一の記事に、これからのビジネスマンは「日本語のコミュニケーション能力、英語、コンピューター語が必要と書いてありました。あのユニークな視点でグローバルに世界を語るあの情報力、分析力の元にコンピューターがあったのかと思いました。しかも自分でコンピューター語を理解して扱ってる。やはり、コンピューターは必要なんだなと思いました。

英語の必要性は感じていたので英語もやろうと思いました。

## ポルトガル語を始める

平成3年11月にポルトガル語を独学で始めました。平成4年8月にブラジルに行く決心をし、上司に申し出たら、OKが出たのです。私のライフワークにしてるテーマの先生が、ブラジルの仲間から招待され研修に行くことになったのです。その頃シュリーマンの「古代への情熱」に出会いました。この人は若いときに短期間で英語を始め、ロシア語など約8カ国語をマスターし、最後には古代ギリシャ語を6週間でマスターし、ホメロスが著わした「イーリアス」を原語で読み、ギリシャに行ってトロイの遺跡を発掘した人です。それを読み、8カ月でポルトガル語をものにしようと思ったのです。きっかけは向こうの2~3世にポルトガル語で教えてあげようと思ったのです。

H4年1月から岩大の留学生に個人レッスンを頼んで始めましたが、ほとんど自力でやるしかありませんでした。最初はチンブンカンブンだったのですが、行く頃には片言ぐらいは会話ができるようになりました。この経験から全然知らない外国語でも、時間を

かければ一步一步理解していけると言う自信が出ました。コンピューター語だって外国語みたいなもんだらう、日本語で書いてあるコンピューターの本ならポルトガル語より簡単だらう。大体は日本語で書いてるし、専門用語は辞書を引いてでも覚えて行けばいい。というように考えるようになりました。

また、ブラジルに行ったとき、仲間が私のライフワークテーマの勉強にパソコンを活用していました。これは少し驚きでした。日本でもそこまでやっている人はいなかったのです。

## 矢矧晴一郎氏の本に出会う

ポルトガル語を効率的に学ぶいい学習法がないか、しょっちゅう本屋に行っては探していました。そこで、『勉強は技術』（矢矧晴一郎）に出会いました。この方は、経済学部出身の経営戦略コンサルタントで、日本でも二番目ぐらいにマイコンを購入し、独学でプログラムを2,000本作ったという方です。この方法なら私にもできると思いました。



ブラジルで10日間お世話になった林さん宅での夕食の風景



## アイデアプロセッサ

いよいよ、パソコンをやってみようかと決意しましたが、自分の仕事のどの部分に役に立つのかよくわからず、本を読んで研究を始めました。元日経パソコン編集長の沢井仁氏の『体当たりパソコン活用物語』を読みアイデアプロセッサというものがあるということを知りました。これだこれだと思いました。

## パソコンを買おうと思う

会社で、私がパソコンを買おうと言いだしたら、何人かの人には買ってほしくないのか、ソフトも買わなきゃならないんだよ、ワープロにしたらか冷笑に近い反応でした。もちろん事務の女の子は反応なし。

ポルトガル語の学習がきっかけで、岩大の三人のブラジル人留学生と知り合いになりましたが、二人がマックを使っていました。聞くと周りもマックが多いとのこと。マックがいいのかなと思いはじめました。

## マックを見に木津屋に行く

11月20日、木津屋さんにマックを見に行きました。会社と自宅と、そして時々北上の実家と持って歩けるのが欲しかったのです。クラシックIIでは少し重いし、パワーブック100では遅いし、LCIIを見るとカラーはきれいだし、、、と迷いました。

また、その頃マンダラ発想法の手帳を使っていたのですが、それに近くてKJ法をパソコン上で出来、さらにその画面とアウトライン画面とを一瞬に変えるインスピレーションというソフトを知りました。これがアイデアプロセッサでした。これでもうマックに決まりました。

ただ、もう少し様子を見ようと思い、待ちました。一日千秋の思いでした。H5の春にLCIIIがでたときは買おうかと思ったが携帯性でひっかかり、また待ちました。

## 待望のマック

平成5年6月10日パワーブック145Bが出たと杉村さんから電話が入り、夕方見にいき、その場で契約しました。早速マニュアルを見ながらいじり始めました。

最初の頃どうにも困って、IMFの何人かの方にはお仕事でお電話したり、ご自宅にお電話したりしてご迷惑をおかけしました。特に、白石さん、野村さん、工藤さん、照井先輩の方々にはお世話になりました。

## Day Makerとインスピレーション

何とかいじれるようになったので、6月21日、前から欲しいと思ってたインスピレーションをステップに注文しました。この原稿もそれで書いています。頭が整理されてきました。

また、手帳はシステム手帳、マンダラ手帳、ポストイット活用術など、いろいろ使ってみましたがなかなかびたり来ませんでした。To doリストのやり残しの転記が面倒だし、いろいろな情報の整理の仕方が面倒でした。こういうことを自動的にしてくれるパソコンがあればいいなあとは半ば夢見たいに思っていました。そしたら、マックの雑誌にDay Makerというソフトがあり、なかなかいいと書いてました。

7月12日注文しました。

何か考えるとき、前は頭で考えたり、紙の上でマンダラ発想法などを使ってやりましたが、今はインスピレーションを使ってやっています。マンダラ発想法でも頭が整理されるなど感じたが、インスピレーションは比較にならないくらい便利です。

Day Makerで毎日のスケジュール、情報を管理しています。データベースの機能もありますので整理、検索もできます。このソフトももう離せないとても便利なものです。

## 今後やっていきたいこと

今、会社にはリコーのマイツールの会員管理システム、経理ではNECの会計システム、衣装部ではNECの98など、ばらばらに使っているが、これを、マックを中心にした、LANシステムにもって行きたいと個人的に思っています。そのために、徐々にマックの良さを周りの人に理解してもらっていきたく思っています。

また、将来ニフティにライフワークのテーマのフォーラムを開き、全国の仲間と通信したい。そして、さらに、ブラジルを初め世界各地のお仲間とパソコン通信したいと思っています。

最後に、今回この原稿を編集するにあたり、遠山さん、杉村さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。



ブラジル留学生と岩手山へ



# めぐみへ おいでおいで

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

MEGUMI NET 開局!

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

## MEGUMI NET 開局!

と、いうわけで、我らがIMFも、ついに独自の専用BBSを運営することになりました。

いままでは盛岡市BBSに、間借りの生活で、肩身の狭い思いを...

え?

そんな肩幅の狭い奴はIMFにはおらん?

はいはい、そうでした。

会長をはじめ、「私以外」はみなさん、心も肩幅も広いお方ばかりでした。

## 簡単操作でらくちん

さて、MEGUMIという愛妾、じゃなかった、愛称ですが、宮武さんが某氏の愛人...とか口走っておりましたが、真偽のほどは定かではありません。



MEGUMIネットは、FirstClassという、電子メールソフトを使ったものです。

さすが、もともと、電子メールソフトだけあって、そのインターフェイスは、従来のパソコン通信とはひと味違ったものです。

そこで、MEGUMIネットの特徴をちょっとだけお見せしましょう。

ちょっとだけよ〜ん。  
なんちゃって、7/4!

▼ ファイル 編集 メッセージ 会議室 表示



まずMEGUMIに繋がると、このような画面が現れます。(上図)

見ておわかりのように、従来のパソコン通信とは全く違った世界ですね。

あたかも、自分のマシンのなかの一つのフォルダーが開いているかのような感じです。

コマンドや、呪文などを打ち込む必要は全くありません。

普段、いつもの作業をやるのと同じように開きたいフォルダーをダブルクリックするだけで行きたい会議室に簡単に入ることができます。

また、バレットを使つての操作も簡単快適です。

招き猫の手のように赤い旗が立っているフォルダーがありますね。

そこには、未読の書き込みがあるということを知らせています。

話はそれますが、このように左手で招くのは水商売で、人を招くのだそうです。

ちなみに、右手の場合は商家で、お金を招くのだそう。

※<注>自分のところだけ右側にすることはできません。

書き込みは、例えばこんな風です。(右図)

御覧の通り、書き込み内容に文字スタイルを設定できたりして、結構楽しいインターフェイスになっています。

## PDSも自由自在

また、添付ファイルという形でPDSソフトや、文字以外のデータ(例えば、画像や表などのデータ)をも扱えますので文字だけでは伝えにくい、情報のやりとりが気軽にできます。(例 右図)

また、同じアプリケーションを持つ者どうしなら、生データの交換なども手軽にできます。

## 速い！

MEGUMI NET では、通信速度14,400bps迄をサポートしています。

クライアントユーザーのみなさんも高速モデムを使えば数百k程度のデータのやりとりもあっという間でしよう。通信の世界がますます広がりますね。

ただ、今の所、オートパイロットができないのが、ちょっと辛いところです。また、一般のパソコン通信のようなSend Text (テキストを送る) 機能がないので、あらかじめエディターなどで作っておいたものを開いておいてカット&ペーストで書き込むなど、多量のノウハウが必要です。

## 便利な機能いろいろ

それから、First Classの便利な機能の一つにHistory (ヒストリー) というのがあります。これは、どの書き込みを誰がいつ読んだかわかるというシロモノです。

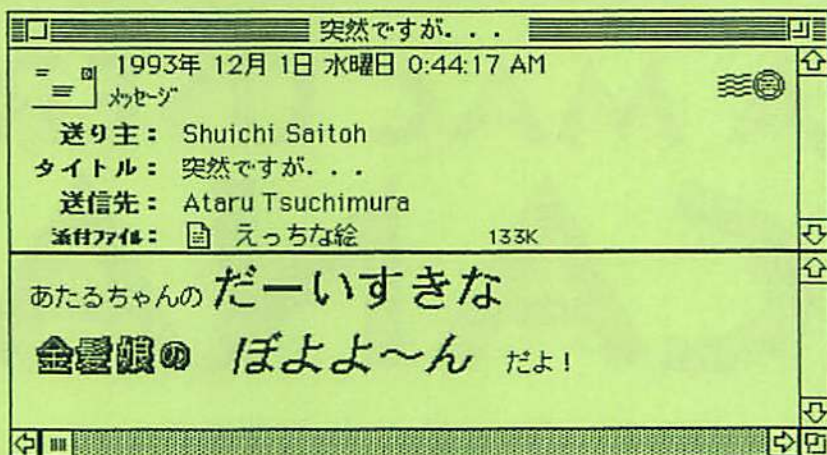
これで、例えば、自分の書いたものをみんな読んでくれているかわかるし、読んでいるのに返事をよこさない。あんにゃろめ！とか、いろいろ便利です。

また、管理権限を持ったメンバーと、同意が得られれば、会議室を新設するなど、簡単にできます。

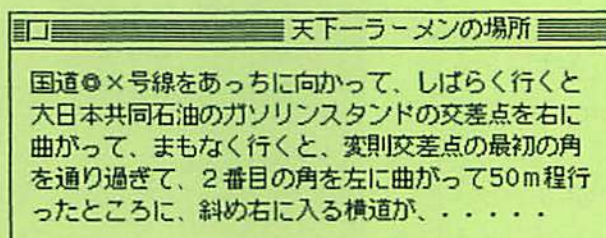
そのほか、ゲートウェイを介して他のUGのネットとリンクできるなど、パソコン通信が世界的なネットワークで拡大しつつある昨今、将来性に向けた機能も充実しています。

唯一の欠点は、ついうっかりと通信をしていることを忘れてしまいがちなので、電話代が今までよりかかるかもしれません。

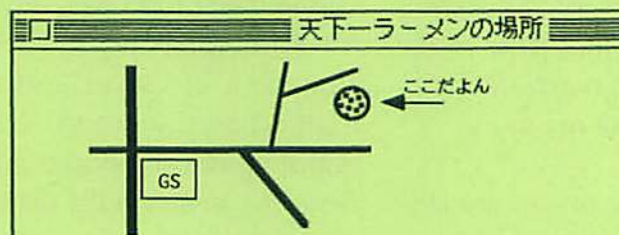
くれぐれも、みかか代とみかか様のお怒りにご用心のほどを。



文字だけでは伝えにくいことも...



こうなると、便利



## 加入方法

盛岡市BBSからは、90MAC123 土村迄メールを  
その他の方は、TEL 0196-54-0845 土村宅まで  
例会に来れば、いつでも即OKだよ。



Write&Edit by Saitou

---

# A MAC USER FROM CANADA

by Stephanie Hauschild

I am very flattered to have been asked to write in this issue of "Iwate Mac Fan Club".

In these two pages you can read about the story of a young Canadian graphic designer now living in Morioka, named Stephanie.

Why did you come to Morioka? That's the question I have been asked the most since I arrived here. Here's a short version of my story.

I received my university degree in Quebec, Canada, in Graphic Design, last may and then, before starting to work in Montreal, my dream was to travel and to experience other cultures in the world. My boyfriend had a contract teaching English in Morioka, so I decided to join him. That's how my Japanese adventure began!



Me, working at Fabrique

I arrived last June with almost no knowledge at all of the Japanese life style and culture! Since, I learned A LOT about Japanese people, Japanese life style and a little bit about the language.

The most exciting experience I've had since I've been here is to work in Graphic Design. I first thought it was impossible because of the language and culture barrier and I preferred not to dream about it.

I spent my first three months

here without even touching a computer once and without any informations about Macintosh in Japan (to busy with other things I was experiencing and learning!!!). In september, I started missing my computer and graphic design, so my boyfriend, Robert (who also graduated in graphic design) and I, began inquiring our friends and students about Macintosh and graphic design in Morioka. As Japanese people are always kind and keen on helping poor, pitiful "gaijins" in need,

---

they provided us with a lot of useful informations. We quickly discovered that many people have a Macintosh at home. It's not as popular as in Quebec, Canada, but the Macintosh revolution is also slowly taking place in Morioka. Finally, we worked a little bit on one of our friend's computer. It was so funny to read the menu in kanji and katakana instead of French or English! Then, we tried to install all our French and English gadgets and software to ultimately discover that our Canadian stuff isn't

always compatible with the Japanese system!!!

Then one of our friends "who knows somebody, who knows somebody", who has a graphic design company, told us that it could be possible to go and have a look of their studio and have a little chat with the staff. WOW, what a great opportunity! So, at the end of september, we visited the company: FABRIQUE, in shike-cho. Generally speaking, I guess a Japanese graphic design company looks a lot like a Canadian one ... as far as I know! Fabrique is especially well equipped though, and their work is very professional. When I visited them in september, I left my resume, even if I was far from expecting a job.

In october, although I didn't have my porte-folio, didn't

have a lot of experience and didn't speak Japanese, Fabrique gave me a chance and offered me a part-time position.

I usually work on almost only english (romaji) design, but I of course had to learn about the differences there are between the English system and the Japanese one! I've learned how to change from "romaji" to katakana or hiragana, and how to write with kanji. Using so many ways of writing makes it a little bit more complicated. I first had a few problems with my Canadian romaji fonts, but, solved the problem by using suitcase.

My experience working on Macintosh in Japan is very fulfilling and will surely be very useful when I'll go back to Canada. ■



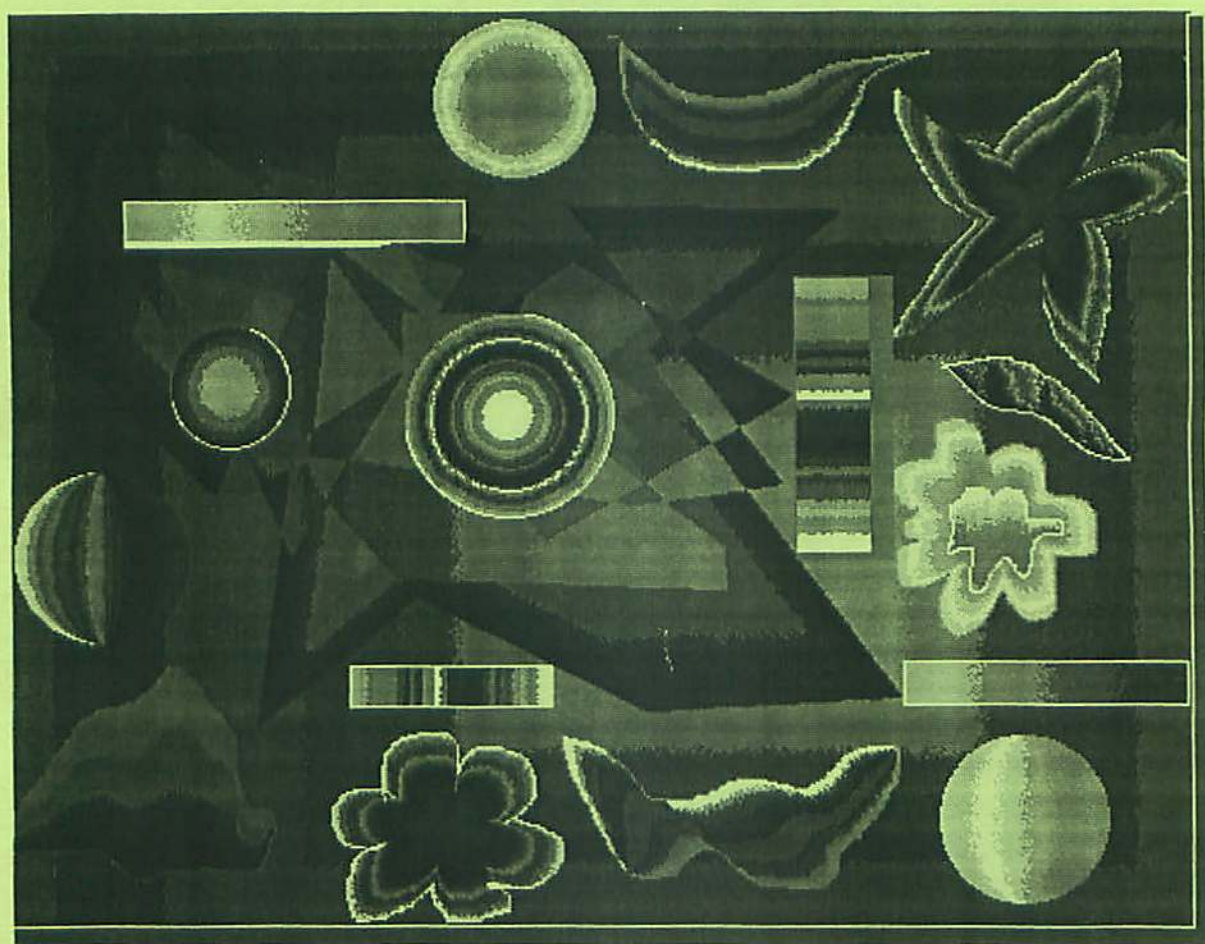
Robert and I



Iwate san and the beautiful landscape from Morioka with which I fell in love!

---

# 林檎ギャラリー



\*94. MASAO. SEGAWA

by 瀬川昌男

## 編集後記



今回は、取り纏め役で少し楽をさせていただきました。

杉村さん、編集ご苦労さまでした。

土村



いつもの事ながら締切を過ぎないと執筆できない性分が恨めしい。快調になったDuoも励ましてくれるのだが...

野村



前回のアイコンは、写実性に欠けるとの批判があったため、今回は、より忠実度の高い物に変更した。

斎藤



今回は、編集を早めに終えてMACWORLD Expo Tokyoに行ってきます。

杉村

今回初めて載せていただきました。遠山さん、杉村さんにはいろいろお世話になりました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

阿部好晴



萌ちゃん(土村さんの愛娘)バレンタインのチョコありがとう。

遠山



便利になるMacの世界に付いていくのは大変だけど、IMFのお陰様でなんとか後を追っかけていられます。

徳富

## 会員名簿

青山真紀子	盛岡市	鈴木裕之	盛岡市
浅田昌稔	北上市	瀬川昌厚	盛岡市
浅沼豊	盛岡市	関口厚光	盛岡市
浅野恵治	仙台市	平靖夫	盛岡市
阿部好晴	盛岡市	高島浩一郎	盛岡市
池田学	釜石市	高橋晃	盛岡市
石田宏	盛岡市	高橋浩幸	盛岡市
一井誠	盛岡市	武元伸次	盛岡市
伊藤光司	花巻市	谷口和美	盛岡市
井上督	盛岡市	田村真智子	盛岡市
祝田明子	盛岡市	Daryl Pitts	花巻市
沖野覚	二戸市	千葉智彰	玉山村
小野寺一郎	紫波町	千葉浩保	盛岡市
桂川茂彦	盛岡市	塚野弘明	盛岡市
兼平信一	盛岡市	土村中	盛岡市
鎌田五百枝	盛岡市	照井芳夫人	花巻市
神達宏	盛岡市	遠山明亘	盛岡市
菅野研一	宮古市	徳富亘	花巻市
木村栄子	盛岡市	苦米地怜	八戸市
工藤聡	滝沢村	豊間根道子	盛岡市
工藤悦	盛岡市	永澤幸雄	盛岡市
熊谷朋也	盛岡市	長土居正弘	盛岡市
小松寿夫	仙台市	西島光茂	盛岡市
近藤英一	紫波町	根本聰彦	札幌市
斎藤岳	盛岡市	野村行憲	盛岡市
斎藤秀一	盛岡市	福田健次	盛岡市
佐々木明宏	盛岡市	藤澤義栄	花巻市
佐々木幸司	盛岡市	藤村洋	盛岡市
佐々木健	岩泉町	本多健一郎	盛岡市
佐々木治男	矢巾町	米谷則美	宮城県涌谷町
佐々木文雄	紫波町	三浦利章	浄法寺町
佐々木光夫	大槌町	三浦吉範	盛岡市
佐々木吉則	盛岡市	宮本岩保	矢巾町
佐藤雅子	仙台市	村上宏文	盛岡市
佐藤学	宮守村	村上弘行	盛岡市
佐藤護人	盛岡市	村川寿	柏市
渡谷健治	盛岡市	本館康司	花巻市
渡谷芳三	盛岡市	藪敏裕	盛岡市
白石隆	盛岡市	山本淳	盛岡市
白旗清	仙台市	横田喜安	盛岡市
菅原忠雄	花巻市	横手登	盛岡市
杉村栄一	盛岡市	吉田新二	盛岡市
杉村峰秀	花巻市	渡辺浩志	能代市

## 例会案内

3月19日(土)  
14:00 開場  
15:00 例会  
17:30 解散

場所:  
岩手大学  
教育工学センター

## 総会案内

4月23日(土)予定

詳細は、後日葉書で  
お知らせいたします。

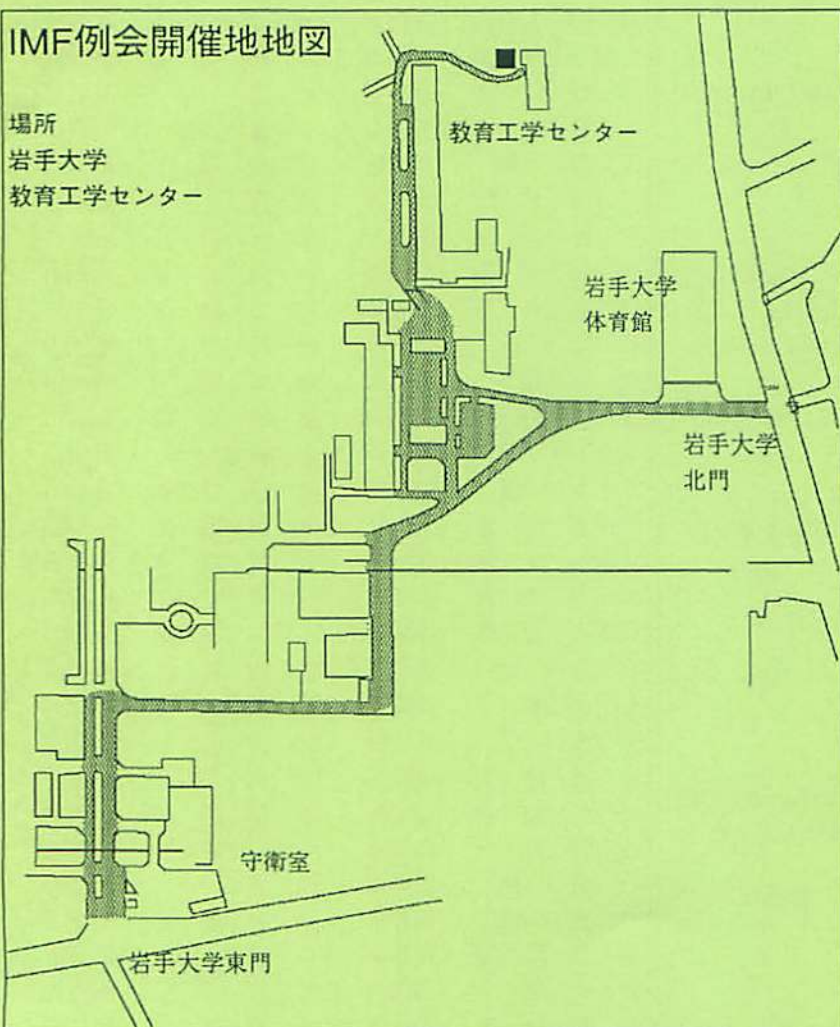


例会の後で、場  
所を変えて編集会  
議を行います。

お時間のある方  
ご一緒しません  
か?

### IMF例会開催地地図

場所  
岩手大学  
教育工学センター



「林檎」29号は...

Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	MacDrawPro
Illustrator	MacPaint
MacVJE	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
SuperPaint	ガラスワークス

等で作ったものをPageMaker でま  
とめLaserWriter, Microline でプリ  
ントしました。

「林檎」第29号 1994/2/19  
編集長 高橋 晃  
発行 岩手Mac友の会  
代表者 野村行憲

020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品